



令和5年1月10日

**第9回広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」授賞式
及び記念講演会の開催について****情報提供**

広島大学は、女性研究者の研究活動の支援を図るとともに、他機関等との連携による新たな取り組みを通して、より独創的・学際的な活動をサポートすることを目的として、女性研究活動委員会を設置しています。

また、平成25年に、本委員会の支援の一環として、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、広島大学女性活躍促進賞「メタセコイア賞」を創設しました。

第9回メタセコイア賞の受賞者である中丸三千繪氏は、世界各国で活躍する日本を代表するソプラノ歌手であり、現在、広島大学教育学部の客員教授も務めていただいております。

このたび中丸氏をお招きし、第9回授賞式および記念講演会を以下のとおり開催いたしますので、奮ってご参加ください。

【日時】

令和5年1月20日（金）13時30分～15時00分

【開催方法】

オンラインによるライブ配信

【申込方法】

以下URLより必要事項を入力の上、お申込みください。

<https://forms.gle/mMiF1n9qNRBE36EV9>**【申込締切】**

令和5年1月13日（金）

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室 学術・社会連携部

稲鍵 拓人

TEL:082-424-4497 FAX:082-424-6189

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

第9回 広島大学
女性活躍促進賞『メタセコイア賞』授賞記念

CAP
WAK
career advancement project
for women researchers

中丸 三千繪 講演会

受賞者略歴

中丸 三千繪 (なかまる みちえ)

桐朋学園大学声楽科卒業、同大学研究科修了。在学中よりジュリアード音楽院、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学。1986年、小澤征爾指揮、R.シュトラウス『エレクトラ』のタイトルロールでデビュー。1987年、イタリアに渡り、1988年、第3回「ルチアーノ・パヴァロッチェ・コンクール」優勝、ヨーロッパデビューを果たす。第4回「マリア・カニリア・コンクール」優勝、第27回「フランチェスコ・パオロ・ネリア・コンクール」優勝。これを機にミラノ・スカラ座と出演契約を結ぶ。1989年『愛の妙業』でルチアーノ・パヴァロッチェと共演し、アメリカデビュー。1990年、RAI(イタリア国営放送)主催「マリア・カラス国際声楽コンクール」に優勝し、欧米各国より出演依頼が殺到する。

以来、ミラノ・スカラ座でのムーティ指揮、ワグナー『バルジファル』など、世界各国の歌劇場でブラシド・ドミンゴ、ホセ・クーラ、ロリン・マゼール、ケント・ナガノをはじめとする当代一流の音楽家と共演。1994年にはベルサイユ宮殿での英仏チャリティ親善コンサートに、故ダイアナ妃臨席の下、フランス代表として出演。

1995年、MODA(イタリア貿易振興会) Made in Italy賞を受賞。1997年、歌舞伎座にて史上初めてとなるソロリサイタルを行い、大きな話題となった。東芝EMI(現ユニバーサルミュージック)より20タイトルのCDをリリース。ホセ・クーラ、ダニエラ・デッシーらとローマ国立歌劇場のマスカーニ『イリス』、ベルリンフィル12人のチェリストとの録音にも参加。また、著書「マリア・カラス・コンクール スカラ座への道」、エッセイ集「声のある時間」を出版。1998年より、日本各地で小児がんの子どもを支援するチャリティコンサートを行っており、天皇皇后両陛下ご臨席のチャリティコンサートにも出演するなど、社会活動においても高い評価を受けている。日本国内においてもリサイタル・ツアーの他、フィルハーモニア管弦楽団、ハンガリー放送交響楽団、スロヴァキア国立放送交響楽団などの日本公演にソリストとして出演。2001年にはポーランド国立歌劇場日本公演「椿姫」ヴィオレッタ役で出演、絶賛を受ける。またメジャーリーグ開幕戦開会式、サンフランシスコ講和条約締結50周年記念式典(於ワシントン)などの国際的イベントにおいて日米両国歌を斉唱。

近年ではリサイタルの他、モノオペラ『悲嘆 Grief』(三枝成彰作曲 / サー・アーノルド・ウェスカー演出)世界初演、グランシップ開館10周年記念事業「椿姫」(鈴木忠志演出)に“ヴィオレッタ”役で出演する等、日本におけるオペラ活動にも積極的に取り組んでいる。2006年、イタリア文化の貢献が評価され、“イタリア連帯の星勲章”コメンダトーレ章(Commendatore dell'Ordine della Stella della Solidarieta Italiana)をイタリア大統領より授与された。2007年、パリ、モナコ(モンテカルロ劇場)でリサイタル、2009年、パリ、ポルドー等のオペラハウスに出演。2010年、「2010年トルコにおける日本年」日本トルコ友好祝賀記念式典出演(於トルコ・イスタンブール)。ピルケント交響楽団(トルコ・アンカラ)に招聘されリサイタルを開催、ミラノの大聖堂、ローマのバチカン等でコンサートを開催。2011年、三枝成彰作曲『悲嘆』、プーランク作曲・ジャン・コクトー原作『人間の声』と一晩で二つのモノオペラ(奥田瑛二・演出)を一人で演じ、3夜にわたりTV放送された。2015年プラハ国立歌劇場日本公演「椿姫」にヴィオレッタ役で出演。2016年にはエジプトのピラミッドの前でコンサートを開催、2018年カイロオペラハウスでヴェルディの『アイダ』のアイダ役で出演するなど、現在も海外でも活躍して記録を残している。2019年6月、G20大阪サミットで、ドナルド・トランプ、ウラジーミル・プーチン、習近平をはじめとする各国首脳の前で日本代表として演奏。2020年9月には、サントリーホールにてオーケストラを指揮して指揮者デビューした。一晩にショパンのピアノコンチェルト2曲、華麗なる大ポロネーズを指揮するという快挙を遂げる。現役オペラ歌手がピアノコンチェルトを指揮するのは世界の歴史に残る。元桐朋学園大学特任教授。

広島大学教育学部客員教授。

令和5年

1月20日(金)
13:30~15:00

(授賞式/13:30~、講演会/13:50~)

《オンラインにて開催 要事前申込》



お申込はこちらから▶

<https://forms.gle/mMiF1n9qNRBE36EV9>



申込期限: 令和5年1月13日(金)

学長挨拶

広島大学では、女性自ら先導し、あるいは女性の活躍の場を広げることによって、社会全体の活力向上に貢献した個人・団体を顕彰するため、平成25年度から表彰を行っています。

中丸三千繪氏は、世界各国で活躍する日本を代表するソプラノ歌手であり、大変貴重なお話を伺える機会となります。是非、多くの方にご参加いただけますようお願い申し上げます。

広島大学長 越智 光夫



お問い合わせ

広島大学学術・社会連携部研究戦略グループ
E-mail: ura-women@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学